

EAST TIMES

東日本保証広報誌 2025 夏号



特集 「かなえる」

特集「かなえる」

「かなえる」をキーワードに、社会資本整備に関わるさまざまな取り組みについて考えていく

12 楽しいも優しいもかなえる

Photo Gallery

楽しいも優しいも「かなえる」
環境配慮型スポーツ施設



東京競馬場(1933年開場 東京都府中市)

04 願いをかなえる

人類の願いを、地球の願いを「かなえる」
欧州基準の健康・省エネ住宅「パッシブハウス」

巻頭インタビュー

一般社団法人パッシブハウス・ジャパン 代表理事
キアーアーキテツ株式会社 代表取締役 森 みわ 氏



14 建設企業向け小冊子のご紹介



(写真提供:株式会社加藤建設)

08 共生をかなえる

自然との共生を「かなえる」
エコミーティングを独自に展開

株式会社加藤建設 代表取締役会長 加藤 徹 氏

16 連載「けんせつのでんせつ」シリーズ83 狸小路

建設産業図書館事務局 江口 知秀



新橋駅前ビル1号館の入口に
立つ開運狸(東京都港区)

18 トピックス 岩手支店から “輝き”と“活力”をかなえるまち 「盛岡市」



岩手銀行赤レンガ館(岩手県盛岡市 写真提供:株式会社岩手銀行)

10 保存公開をかなえる 地域の話題 よりみち この街 Vol. 33 昭和初期のモダン住宅の保存公開を 「かなえる」ことができた土浦亀城邸 鈴木 伸子



土浦邸 居間を上から 2024年(東京都港区 写真© 土浦亀城アーカイブズ)



表紙の写真——
八幡平リゾート
(岩手県八幡平市)

地球温暖化が進行する中、スキー場や温泉、トレッキングなど四季折々の自然の恵みを活用したアクティビティを提供する立場として、令和7年(2025)2月から100%地熱由来電力を活用して持続可能なリゾート施設を目指している。

●P12-13 Photo Gallery
「楽しいも優しいもかなえる」をご覧ください。



願いをかなえる

特集「かなえる」

人類の願いを、地球の願いを「かなえる」
欧州基準の健康・省エネ住宅「パッシブハウス」

一般社団法人パッシブハウス・ジャパン 代表理事
キーアーキテクト株式会社 代表取締役

巻頭インタビュー

森 みわ氏

夏は暑く、冬は寒い。それが、日本の一般的な住宅だ。省エネ基準への適合義務化がようやく始まったが、日本の住宅はどう変わっていくのか。断熱・気密・換気システムを駆使してエネルギー消費量を抑え、快適な住環境も地球環境への配慮も実現するというドイツ生まれの「パッシブハウス」。どのような設計メソッドなのか。普及・啓発にあたる一般社団法人パッシブハウス・ジャパン 代表理事でキーアーキテクト株式会社 代表取締役の森みわ氏に聞いた。

——「パッシブハウス」とは、どのような設計メソッドですか。

森 人が暑くも寒くもなく、快適であると感じられる温湿度環境を目指し、エネルギー効率の高い建物を設計する手法です。設計基準となる室温は夏25℃、冬20℃で、湿度にも一定の目標値を定めています。環境先進国であるドイツ生まれの手法ですが、これらの性能値については世界共通の基準です。

地域の気象や敷地の条件などを踏まえ、ある設計の場合、どの程度の冷暖房エネルギーを必要とするか「Passive House

Planning Package（以下、PHPP）というシミュレーションソフトを用いて計算します。25年の実績を持ち、その間、エネルギー消費量の実測値に基づくフィードバックを繰り返してきました。設計段階で出たエネルギー消費量の予想と実測値に、ほとんどズレがないのが強みです。

——戸建て住宅の場合、どのような仕様を想定すればいいですか。

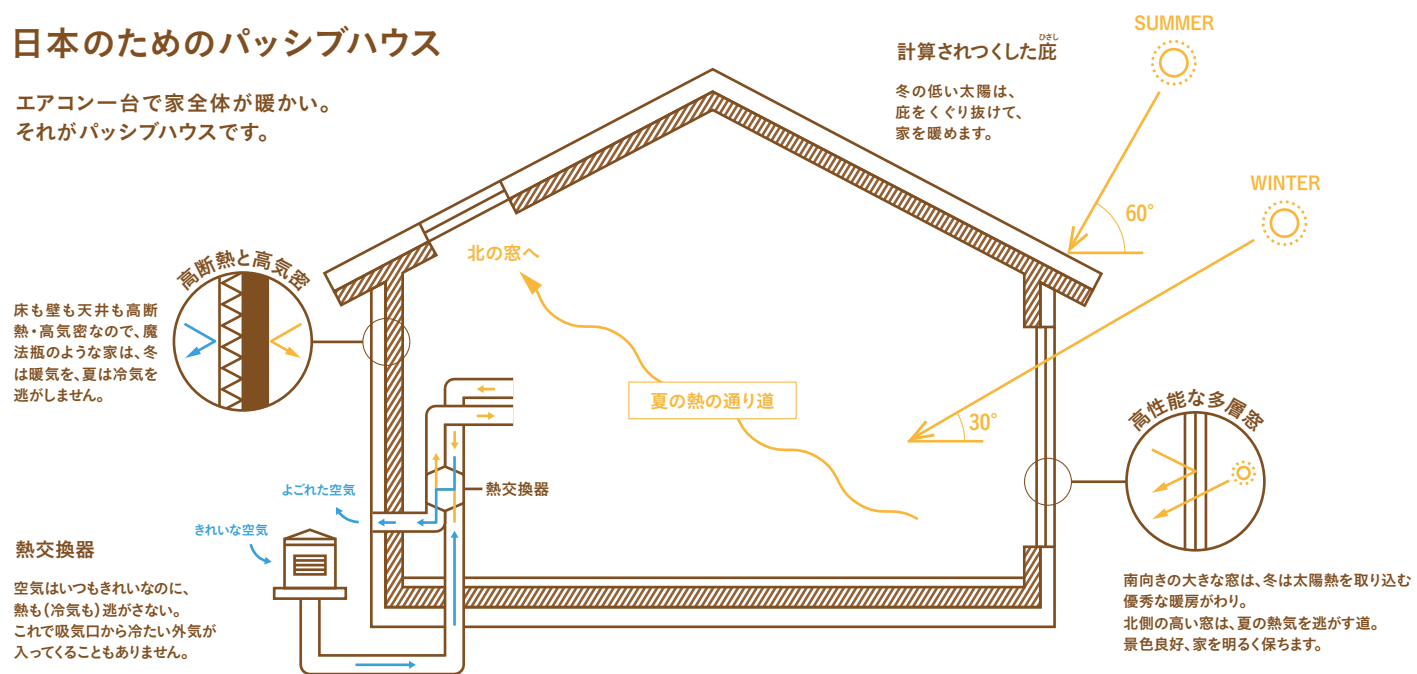
森 目安として、6畳用エアコン1台で夏も冬も家中が温湿度のムラなく快適に過ごせるような水準です。熱交換換気設備※に熱源を組み合わせることで、換気風量のみで全館空調が可能となります。この水準を達成するには、断熱性能をかなり上げる必要があります。細かな仕様はさておき、東京でも、断熱材は屋根で30cm以上、壁で20cm以上、窓はトリプルガラスの樹脂窓にする必要があります。

体感温度を家中同じ水準に
自由度高まる空間デザイン

——断熱性能をそこまで上げれば、冒頭の目標値に室温を保つことができるということですか。
森 そうです。断熱構造が乏しい

日本のためのパッシブハウス

エアコン一台で家全体が暖かい。
それがパッシブハウスです。



（提供：一般社団法人パッシブハウス・ジャパン）

※ 熱交換換気設備：排出される空気から熱を回収し、外気を室内に取り込む際にその熱を再利用する換気システム。室温を一定に保ちながら換気を行うことができ、省エネ効果や快適性の向上につながる

家では、夏の場合、室温を27℃に設定しても涼しいとは感じません。屋根の温度が40℃にもなるからです。冬の場合も同様です。室温を20℃に設定しても、壁面の温度が10℃にとどまれば、体感温度はその中間である15℃程度にしかならないのです。

これに対して「パッシブハウス」では、室内の設定温度を体感温度に限りなく近づけられます。しかも、家中どこでも温度ムラがありません。空間デザインの自由度も格段に高まります。

——森さんが「パッシブハウス」に取り組む背景には、日本の住宅が抱える課題がありますね。

森 はい。湿気の多い日本の住宅は、構造材を腐らせないため夏の風通しを第一に考え、冬は局所で暖を採るという文化を引きずっています。そこには断熱の考え方はありません。そのまま日本が得意とするエアコンのような技術で無理やり空気を暖めようとしている

とても非効率な状態。近年の地球温暖化やエネルギー高騰、国の省エネ基準が変わったことによる意識の高まりで、ようやく断熱の重要性が認知されてきました。

——「パッシブハウス」には先進地である欧州のように省エネという価値があると思います。電力消費を抑え、二酸化炭素(CO₂)の排出削減にもつながります。この他にどのような価値がありますか。

森 居住者の健康促進です。高齢者では、室内と風呂場の温度差から急激な血圧低下を招くヒートショックが問題視されています。

冬でも室内全体が暖かい住宅は、それを防ぐことから、健康寿命を延ばすと認知されつつあります。夜中にトイレに起きなくなり、朝までぐっすり眠れると免疫力が上がり、風邪をひきにくくなるというメリットもあります。

子育て世代では、子どものぜんそくやアトピーなどカビを原因とするアレルギー症状を抑えられるというメリットがあります。「パッシブハウス」は、結露やカビとは無縁なため、お子さんの症状が改善される。育児が楽になり、子育て世代のストレスも緩和されます。

差別化へ、建築物の認証を
建築実績は全国120棟に

——カビの発生を抑えられるのは、どのような理由からですか。

森 局所的に低温度の場所が家の中にならないことによって、過剰な高湿度に晒される場所もないからです。風呂場の水蒸気もスムーズに換気システムで排出されるので結露現象がおきない。カビの好む条件が揃わないのです。

——国内に「パッシブハウス」の建築実績は何件あるのですか。

森 一般社団法人パッシブハウス・ジャパンとして運用する認証制度では、建築実績は120棟に達しています。多くは戸建て住宅ですが、実績の中には、オフィスや宗教関連施設も見られます。

——「パッシブハウス」の認定を受けていない省エネ建築とは何が違うのですか。

森 「パッシブハウス」は、PHPPを用いて、断熱材の種類や厚さ、ガラスや間に挟むガスの種類、熱回収効率、軒の長さなどを敷地や気象の条件から具体的に求めます。一定の性能を確保した建築です。メソッドを開発した独パッシブハウス研究所(PHI)側が商標を登

録しない方針を打ち出しているため、他の省エネ建築との差別化は難しいのですが、先ほど申し上げた認証制度で認められたものだけを、私たちは「パッシブハウス」と呼ぶようにしています。

省エネをうたった建築であつても、具体的な仕様や性能を確認しないと、住み始めてから、「こんなはずでは」となりかねません。

一番弱い人に届きたい
空間の価値・やさしさ

——「パッシブハウス」の広がりについてはいま、どのように受け止めていますか。

森 平成22年(2010)に一般社団法人パッシブハウス・ジャパンを設立して以来、建築業界での理解は徐々に進んできたように感じて

います。普及・啓発活動の一環として「省エネ建築診断士」の資格講座を年2〜3回実施してきました。受講者数は4000人近くに上ります。また設計事務所、工務店、建材メーカーなどで組織する賛助会員は約300社を数えるようになりました。建材メーカーからも、良い製品が出てきています。

——最後に「パッシブハウス」の今後の展開について、お考えを聞かせてください。

森 公共性の高い中規模集合住宅を「パッシブハウス」として社会に送り出していきたいです。中規模なら、スケールメリットが働き、エネルギー効率をさらに上げられます。具体的には、精神障がい者のグループホームが考えられます。「パッシブハウス」の温熱環境は、音・光・温

湿度に敏感な居住者にストレスを与えません。コンディションが落ち着いてきて、お世話をする人も楽になります。実際、パッシブハウス・ジャパンのメンバーが千葉県内でその設計に関わりました。

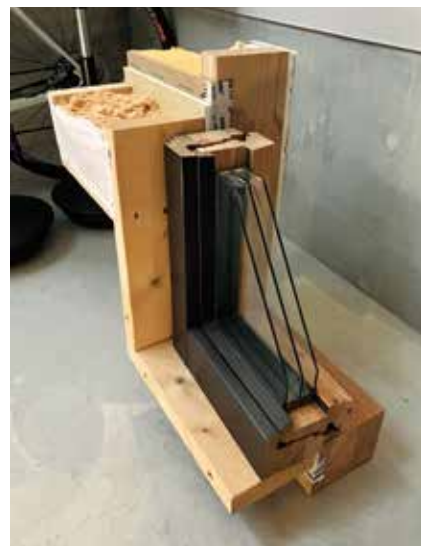
「パッシブハウス」の建築コストは新築住宅の1.5〜2割増が目安です。一部の富裕層のぜいたく品と思われるかもしれませんが、本来は一番弱い人に届きたい温熱環境です。長い目で見れば、光熱費が抑えられます。地球環境にも優しく、住む人にも快適な家の付加価値はプライスレスだということを伝えたいと考えています。



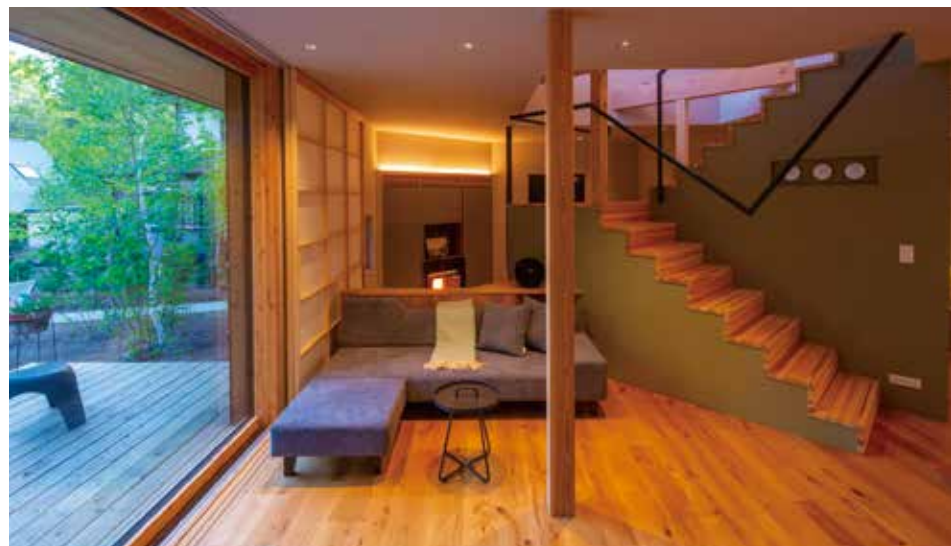
独パッシブハウス研究所(PHI)認証マーク



「パッシブハウス」設計メソッドで建てた森氏の自宅。真南に向けた大きなコーナーガラスからの日射は冬の暖房エネルギーに、蓄電池代わりに電気自動車を活用し夜間の照明や家電等の電力として利用。庭に設置してあるのは太陽熱温水器(長野県軽井沢町 写真提供:一般社団法人パッシブハウス・ジャパン)



リビングの壁と窓の実寸大断面。26cmの断熱材、トリプルガラス、断熱性に優れた木製サッシを採用している



リビングの大きな窓から日射を取り入れる。断熱性や気密性によって部屋を開め切る必要がないため、開放的な間取りが実現できる(写真提供:一般社団法人パッシブハウス・ジャパン)



森 みわ(もり みわ)

【現職】
一般社団法人パッシブハウス・ジャパン 代表理事
キーアーキテツ株式会社 代表取締役
ドイツ・バーデンビュルテンベルク州公認建築士

【略歴】
1977年3月東京都生まれ。横浜国立大学工学部卒業。横浜国立大学で建築を学んだ後、22歳でドイツの研究奨学金を受け、シュツットガルト工科大学に国費留学。都市計画学部でDiploma学位(修士に相当)を取得。現地の設計事務所にて東京ドイツ大使館新築プロジェクトの設計にかかわった後、27歳でアイルランド共和国に移住・転職。32才で帰国し、一級建築士事務所キーアーキテツ株式会社と一般社団法人パッシブハウス・ジャパンを設立。

PASSIVE HOUSE JAPAN
もっと、家に頼ろう。

一般社団法人パッシブハウス・ジャパン

ドイツ発祥の超省エネ住宅「パッシブハウス」を日本の気候・文化様式にあわせた「日本型超省エネ住宅」の研究と確立、そして普及を目指す非営利の社団法人



● エコミーティング事例「ヨシ原の再生」



準絶滅危惧に分類されているタコノアシ
(写真提供:株式会社加藤建設)



撤去後3年



玉石撤去後



玉石撤去前

も う一度、建設業を地域住民から感謝される職業にしたい、という思いです。かつては道路が整備されれば、地域の皆さんは『便利になつてうれしい』と喜んでくださいました。しかしその後、社会の空気は変わり、建設業には逆風が吹き始めます。内容は変わらないのに、敬遠される職業になつてしまいました」

利便性の向上に代わり社会に求められるものは何か。加藤氏がそこを突き詰めた末に行き着いたのが、自然との共生だ。建設業は自然を守る仕事という認識を、

いま喜ばれる建設業とは
自然を守る仕事への転換

加藤建設は明治45年(1912)創業の老舗。土木・建築事業、地盤改良事業、圧入ケーソン・立坑事業を3本柱とする。地元で軸足を置きながらも、地盤改良や圧入ケーソン・立坑事業で独自技術に強みを持つようになってからは、全国展開を始めた。

4代目社長(当時)を任された加藤氏がエコミーティングを呼び掛けた狙いは、建設業の地位向上にあるという。

エコミーティングを通して広める狙いを持つ。

2、3年もたつと、加藤氏は手応えを徐々に感じ始める。「エコミーティングの結果として現場でカエルを保護した時は、社員が自身の仕事内容をお子さんに誇らしげに話せたと聞きます。仕事への向き合い方が変わると直感しました」。

2012年度には、活動に弾みをつけるため、第三者からの評価を得ようと、愛知県が主催する「愛知環境賞」に自ら応募した。その結果、これからの建設事業のあり方を示す先駆的なモデルと評価され、銀賞を受賞。平成29年(2017)には「環境 人づくり企業大賞2016」ならびに「生物多様性アクション大賞2017」にて環境大臣賞をダブル受賞した。「先の受賞を境に活動に対する社内の理解が、一気に進みましたね」と加藤氏は笑う。

発注者や元請けからも評価を受ける。例えば地盤改良事業では、工事に下請けとして携わる機会が多い。「エコミーティングの成果が評価され、元請けから新たな発注を打診されることもありま



かとう とおる
加藤 徹
株式会社加藤建設
代表取締役会長

た武器とさえ位置付けています」(加藤氏)。

社内ではすっかり定着しつつあるエコミーティング。加藤氏はその自然共生活動を、建設業界を挙げた取り組みにまで発展させていく夢を描く。

「私たちも当初は、この木を切らずに工事するという簡単なことから始めました。難しく考えず、まずは一歩を踏み出していきましょう。エコミーティングが常識になれば、社会の見る目は変わる。憧れの職業ナンバーワンになれますよ」



平成29年、エコミーティングの取り組みは、「環境 人づくり企業大賞2016」ならびに「生物多様性アクション大賞2017」にて環境大臣賞をダブル受賞した(写真提供:株式会社加藤建設)

特集「かなえる」
共生をかなえる



ルポ 自然との共生を「かなえる」
エコミーティングを独自に展開

(写真提供:株式会社加藤建設)

ら活動を展開し、建設業は自然を守る仕事という認識を広める。業界を挙げた取り組みに発展させていくことが、夢だ。

木

曾川に架かる橋梁の橋脚を補強する工事現場。受注した加藤建設がいつものように独自の植生調査を実施すると、橋梁の下では玉石でヨシの生育が妨げられている。またその周囲には、環境省レッドリストで準絶滅危惧に分類されているタコノアシも見えられた。

加藤建設では、発注者である愛知県や木曽川を管理する国土交通省 中部地方整備局 木曽川下流河川事務所などに掛け合い、ヨシ原を分断する玉石を撤去し、ふとんかご※に詰めて護岸に活用する道筋をつける。

「撤去作業から3年経過すると玉石の撤去跡にヨシが繁茂し、

タコノアシの繁茂エリアも5倍以上に広がりました」。加藤建設代表取締役会長の加藤徹氏は自然共生活動の成果を誇る。この作業は設計変更で受注工事に組み入れられた。

ピオトープ管理士を取得
脱・素人集団を目指そう

この自然共生活動こそ、加藤建設が平成21年(2009)から取り組むエコミーティングの一例である。社内のメンバーが受注現場に出向き、工事概要と現場状況を確かめる。そのうえで自然共生に向けた意見を出し合い、提案書にまとめ上げ、その実現を目指す。目標は、①自然環境配慮②地域住民配慮③コミュニティづくりの3つだ。

メンバーは、工事担当部門に所属する社員に限らない。営業部門や管理部門に所属する社員も参加するようにしている。ミーティングの場では生活者目線で意見を出し合うことが求められるからだ。ただ、自然環境に対する知識があまりに乏しいと、提案内容に説得力を欠く。そのため、平成23年(2011)以降は、自然環境の

保全・再生の技術者とも言えるピオトープ管理士の資格取得を会社が後押し。令和7年(2025)3月末現在、1級・2級の各計画管理士・施工管理士が社員の約6割にあたる213人を数える。

エコミーティングからの提案は、発注者や元請けの了承を得て実現に移すが、冒頭紹介した例のように設計変更で受注工事に組み入れられる例は、まれだ。提案を実現するためには手間と時間がかかる。現場担当者としては早く工事を完了するのが目標なので、手間のかかるエコミーティングを行うことへの理解を得るには時間がかかり、当初は現場から冷やかな視線が向けられた。

向かい風を受けながらもかれこれ15年以上継続するエコミーティング。こだわりの背景は何か――。



ピオトープ管理士1級・2級の各計画管理士・施工管理士は、社員の約6割にあたる213人(令和7年3月末現在)を数える(写真提供:株式会社加藤建設)



※ ふとんかご:鉄線や竹などで編まれた角型の金網に玉石や碎石などを詰めた仮設工法で用いるかごのこと。河川工事や砂防工事、道路工事などで使用される

昭和初期のモダン住宅の保存公開を 「かなえる」ことができた土浦亀城邸

建築家土浦亀城（1897―1996）とその妻・信子（1900―1998）が設計し、60年以上暮らした自邸が、令和6年（2024）に竣工したポーラ青山ビルディングの敷地内に復原・移築されている。

1990年代末に、家の主であった夫妻が相次いで亡くなり、それ以後にこの家を受け継いで住んだ元秘書の女性は、建物の保存公開を希望していたということで、それがかなえられた形となった。

ライトのもとで建築修業 夫妻の生活様式がそのままに

土浦亀城は、東京帝国大学工学部建築学科在学中に、当時来日して帝国ホテルの設計に従事してい

たフランク・ロイド・ライトの図面作成に参加し、その後ライトに師事したいと、結婚したばかりの妻・信子とともに渡米。ライトのもとで約2年半修業した。

夫妻は帰国後の昭和10年（1935）、東京・山の手の上大崎長者丸に、この住宅を建てた。土壁、瓦屋根の日本家屋が一般的だった時代に、この白い箱のような家は超モダンなものだと受け取られたはずだ。

多くの来客を迎えることを想定した広い玄関。そこから階段を上ると、2層吹き抜けのリビング・ダイニング（以下、居間）。さらに階段を上ると中2階のテラス。そこからまた階段を上っていくと、寝室と洗面所、書斎という具合に、上階に至るにつれてプライベートなエリア

へと変化していくスキップフロアが採用されている。

居間には2層分の高さのスクーールサッシ・ガラス窓。床はオーク材のフローリングで、

室内には、土浦が自らデザインしたパウハウス風の家具が配置されている。ここでは、夫妻の友人たちを招いてのダンスパーティーが催されたそうだ。

室内に飾られている油絵は信子夫人の作品。信子は、夫とともにライトのも

とにいた時期は建築設計を实地で学び、この土浦邸の設計にも信子の意見やアイデアが取り入れられている。しかしその後は、写真や油

絵に専念。写真は夫妻共通の趣味でもあり、2階の洗面所には現像のための暗室も設けられている。

生活空間の中でも、台所には、既製品のシステムキッチンのない時代に創建当初はアルミ製のシンクが備えられ、ガスコンロやガス式冷蔵庫も揃っていた。

食器棚や収納スペースには、大倉陶園にオーダーした洋食器セットや、日常使いの和食器、ミキサーなどの調理用具など、実際に使用していた品が保存展示されている。

窓が多く、間仕切りのないこの家には、よく見ると随所にカーテンが設置されているが、これらは今回の復原・移築に際して、川島織物で糸の選定段階から特注したものだ。

このほか、改めて注目したいのは、洋式の水洗トイレ、シャワー、風呂などの給湯、天井パネルヒーティングの暖房などのために、浄化槽、石炭ボイラーなど、昭和初期において先進的な設備が導入されていたということだ。

初期モダニズムの 実験住宅でもあった

建物は一見して鉄筋コンクリート造に見えるが、当時の日本では、

個人住宅のためにコンクリートを手

入することがかなり困難だったため、木造乾式工法で建てられた。

この方式は、安価で大量生産可能、増改築が容易であるなどの利点があり、土浦は、この自宅の建設を「技術的な改革と、ローコスト追求の実験の場」ともしていたと語った記録がある。

この家の長い歴史の中では、増築や減築、リノベーションも行われてきたが、移築プロジェクトにおいては昭和10年の竣工時の形へと復原。ただ、建物や家具などの設計図はほとんど残されていなかったため、実測データや写真などを元に建築図面を作成したそうだ。

復原・移築は、ポーラ青山ビルディング建て替えの計画、設計中に決定し、新ビルの設計者である安田幸一が、復原・移築の調査、設計・監理も担当した。

昭和10年、当時30代だった土浦夫妻が設計して建てたこの家は、夫婦それぞれが90代で天寿をまっとうするまで暮らし、その後も引き継がれてきた初期モダニズム住宅の傑作。そして、昭和初期における最先端の生活様式を伝えるものとしても、見るものに感動を与える文化遺産となっている。

（文・鈴木伸子）

すずきのぶこ 東京生まれ。東京女子大学卒業後、雑誌『東京人』編集部勤務。1997年より副編集長。2010年退社後、都市、建築、鉄道、まち歩きなどをテーマに執筆活動を行う。



土浦邸 台所 2024年



土浦邸 寝室 2024年



土浦邸 居間を上から 2024年



土浦邸 外観 2024年



土浦邸 浴室 2024年



土浦邸 居間 2024年（東京都港区）

●関連図書のご案内

・『モダンリビング』
2024年277号
ハースト婦人画報社刊
2024年
・『昭和住宅物語』
藤森照信 著
新建築社 1990年※
※弊社建設産業図書館で
所蔵しています

（写真© 土浦亀城アーカイブス）

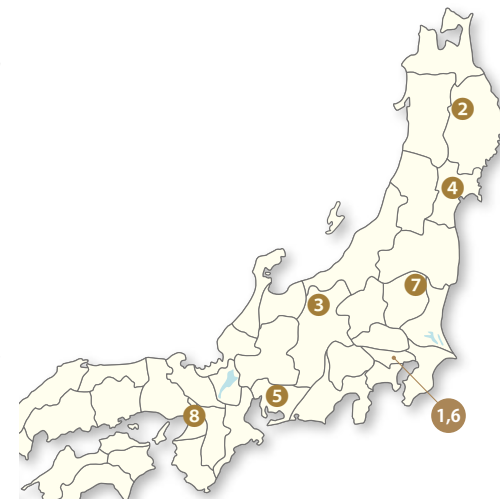


楽しいも優しいも「かなえる」 環境配慮型スポーツ施設

4	3	1
6	5	2
8	7	2

(2005年竣工(第一期) 宮城県仙台市 写真提供:株式会社楽天野球団) 5.世界で初めてドーム型球場の屋根に太陽光発電設備を導入したバンテリンドーム ナゴヤ。雨水利用システムも導入し、トイレの洗浄や植物への散水にも活用している。(1997年竣工 愛知県名古屋 写真提供:株式会社ナゴヤドーム) 6.京王アリーナTOKYOは地熱ヒートポンプを使用し、温水プールの温度を一年中一定に維持している。(2017年竣工 東京都調布市 写真提供:京王アリーナTOKYO) 7.SDGsの達成に向け、さまざまな取り組みに挑戦している大田原マラソン。2024年11月に開催された第34回大会では、老朽化していた折り返し地点のカラーコーンを地元産の間伐材を使用し新調した。(1988年から開催 栃木県大田原市 写真提供:大田原マラソン大会事務局) 8.パナソニックスタジアム吹田は、吹田市の環境アセスメントに則り、LED照明や太陽光発電、雨水を活用したエコスタジアム。(2015年竣工 大阪府吹田市 写真提供:株式会社ガンバ大阪)

1.東京競馬場(1933年開場 東京都府中市) 2.八幡平リゾート(1979年開業 岩手県八幡平市) 3.2020年から、22基中16基のリフトを再生可能エネルギーで運行している白馬八方尾根スキー場。(1929年開業 長野県白馬村 写真提供:白馬観光開発株式会社) 4.楽天モバイルパーク宮城は日本一のサステナブル・スタジアムを目指し、2022年からスタジアムで使用する電力を100%再生可能エネルギー由来の電力により運営している。



観戦するのも自ら体験するのも楽しいスポーツ。それを支える建造物は時に大量の電力や資材を使用して運営されている。今号では、バイオマスや地熱など環境への負荷が少ない再生可能エネルギーを使用するスポーツ施設や、間伐材を活用したスポーツ大会などを紹介する。

まずは、東京都府中市にある日本中央競馬会(JRA)東京競馬場。東京都目黒区にあった目黒競馬場がこの地へ移転し、昭和8年(1933)に開場した。東京競馬場では近年の温暖化への対策や脱炭素社会実現に向け、再生可能エネルギーで発電された電力の環境価値を「グリーン電力証書」という形で受け取ることで、証書記載の電力量分の消費電力がCO₂排出量ゼロとみなされる仕組みを利用した「クリーンエネルギー競馬」を年に数回開催している。

続いては、岩手県八幡平市の八幡平リゾート。ウィンタースポーツやトレッキングなどを通じて、四季折々の自然を満喫できるマウンテンリゾートだ。2つのスキー場を含む八幡平リゾートの全施設で使用する電力は地熱発電で賄われている。

この他にも、再生可能エネルギーの使用や資源のリサイクルで、環境に配慮しつつスポーツも楽しめる施設やイベントがある。是非、足を運んでみてほしい。



新入社員を対象にした小冊子

『建設フレッシュマン GUIDE BOOK 2022』

新入社員の方を対象に、建設業界で働くうえで覚えておきたいポイントを、「社会人としての基本」「仕事の基本」「建設業の基本」の3つの基本を軸に解説しています。

第1部：社会人としての基本

働くことの意味などの社会人としての心構えや仕事に向き合う姿勢、コンプライアンスの基礎知識、SNSの使い方、健康・時間・お金の管理、ストレスへの対処方法など、社会人としての基本について解説しています。

第2部：仕事の基本

職場内での人間関係の築き方、指示の受け方とホウ・レン・ソウの基本、身だしなみや言葉づかい、お客さまや取引先との接し方などのマナーの基本、ビジネス文書・メールの書き方など、仕事の基本について解説しています。

第3部：建設業の基本

建設産業の社会的役割、建設業法の目的や関係法令の概要、公共工事・民間工事・土木工事・建築工事の流れ、安全衛生管理の重要性など、建設業の基本について解説しています。



経営者を対象にした小冊子

『建設業のためのQ&A 経営事項審査』

経営事項審査の概要、各審査項目の基準および評点の算出方法などについて、Q&A形式で解説しています。

経営事項審査の改正の都度、見直しを行っており、本冊子は、令和5年1月改正に対応したものとなっています。



『現場代理人の育成ガイドブック』【知識と実践】

現場代理人の育成に取り組む方を対象に、現場代理人に必要とされる能力や育成ステップ（OJTやコーチングの技術）などについて、具体例を通してわかりやすく解説しています。



『人材確保・定着ガイドブック』

建設業が将来にわたり「地域の守り手」としての役割を果たしていくためには、人材の確保・育成は喫緊の課題です。

本冊子は、人材の採用・定着にあたり、ハローワークの活用方法や社内体制の整備など具体策と実践例を用いて解説しています。



『事業承継ガイドブック』

事業承継を検討されている、または、これから勉強したいと考えている経営者向けに、事業承継を実行するまでのステップや事業承継の事例、資産の承継でやるべきこと、事業承継に関連する法律などをわかりやすく解説したガイドブックです。



これらの小冊子は無料でお配りしています。弊社、営業部・支店までお気軽にお問い合わせください。

建設企業向け小冊子のご紹介

弊社では、建設企業に向けた小冊子を刊行・提供しています。令和7年(2025)3月には、若手技術者の方を対象にした小冊子『マンガでわかる若手技術者育成のための安全管理ハンドブック』の改訂版を刊行しました。本書のほかにも、経営者、若手技術者、新入社員それぞれを対象としたものを刊行しています。ここでは、これら小冊子をご紹介します。



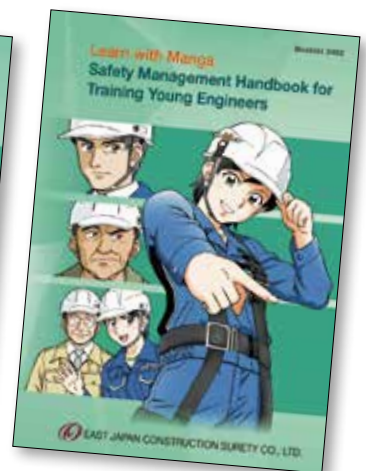
若手技術者を対象にした最新刊

『マンガでわかる若手技術者育成のための安全管理ハンドブック』

近年、建設業界では、将来の担い手確保のため、若年入職者の確保、育成が喫緊の課題となっています。入職後の若手技術者育成に関して、弊社でも支援・協力できないものかと考え、平成27年(2015)よりマンガでわかる若手技術者育成シリーズを刊行しています。

平成28年(2016)刊行の『マンガでわかる若手技術者育成のための安全管理ハンドブック』は、初版から年数が経過したため、今回、法令改正への対応やデータの更新など所要の改訂を行いました。安全管理の必要性、労働災害が発生した場合の対処方法、元請が講ずべき措置および労働災害防止の具体的な取組方法について、関連法令を示しながら、マンガでわかりやすく解説しています。

また、お客さまからのご要望に応え、外国人技術者の方向けに本冊子の英語版を刊行しました。



若手技術者を対象にした小冊子

『建設技術者 START BOOK 2023』

建設技術者が身につけておくべき基礎的な知識や仕事内容、成長段階ごとに必要とされる能力や資格などについて図表やイラストを用いてわかりやすく解説しています。また、近年関心が高まっているICT、BIM・CIM、ドローンなどの建設DXや働き方改革にも触れており、建設業の今後をイメージしてもらえるような内容となっています。



マンガでわかる若手技術者育成シリーズ



品質管理編



原価管理編



工程管理編



環境安全管理編



狸小路

はじめに

皆さんは、「ブランド地名」という言葉を「存在でしょうか？簡単にいえば、名づける」と「不動産が高く売れる」または「集客に役立つ」などという利点が生まれる地名のことです。

例えば「銀座」を例に挙げると、東京の銀座が本家なのはいうまでもなく、『角川日本地名大辞典13 東京都』によると、「モダンな繁華街の代表として有名になり、各地に銀座名を付した商店街が多く」、500余もあるといえます。

石丸雄司著『私の銀座風俗史』によれば、東京に近い関東に集中して350カ所もあり、東北方面に多くて、西は少ないそうです。また、石丸氏にいわせると命名の理由は明白で、××商店街と称するより、××銀座の方が良い響きなんだそうで、つまり商店街の代名詞が銀座だというわけです。

『地名崩壊』の著者である今尾恵介氏にいわせるならば、「やはり町一番の目抜き通りに銀座の称号は与えられるのだ

ろう」となり、私も同意見です。

さて、ブランド地名ではなく、銀座ほどでもないですが、やはり全国各地に見られる（もしくは「見られた」）街路名として「狸小路」があります。

狸小路

狸小路というと、一番先に思い浮かべるのが、札幌の狸小路ではないかと思えます。ここは、札幌一番の目抜き通りにも関わらず、なぜか銀座ではなく狸小路と命名されています。

私は横浜が地元なので、札幌よりも横浜駅西口にある狸小路を先に思い浮かべてしまうのですが、最近再開発された横浜駅ビルTHE YOKOHAMA FRONTの足元に、奇跡のように残された昭和の空間で、せまく短い路地に飲食店がひしめくように並んでいます。

新橋の狸小路

東京都港区の新橋では、新橋駅の東口に現在の「新橋駅前ビル」が建つ前は、狸



新橋駅前ビル1号館（東京都港区）

小路と呼ばれた飲食街がありました。新橋駅前ビル1号館の入口前には、「開運狸」と命名された狸の像が立っており、そこにはおおよそ次のような由来が刻まれています。

「江戸時代の新橋は狐・狸・狼が出没



横浜の狸小路（神奈川県横浜市区西）

明治維新後の明治2年（1869）に開拓判官 島義勇の指揮の下、札幌の建設は始まりました。この草々時代、狸小路の発祥地は、まだ草深い街はずれにすぎませんでした。

明治6年（1873）に当時20歳で札幌にやって来た三島常盤氏の懐古談によると、その始まりは次のようになります。

「明治6、7年であつたかと思うが、旅籠屋渡世侠客松本代吉が、南三条西二丁目に東座というのを建てた。それがきっかけとなつて一杯酒の店が出る。白首が出だすというあんばいで、それ迄の大ヤブであつた地が次第に賑わつて来た。（中略）いたずらにつけた白首小路、即ち狸小路の名がそのまま本名になつてしまったんだから面白い。大ヤブに出る狸で、狸は白首の異名であつた」

明治24年（1891）の『札幌繁昌記』によると「狸小路とは綽名なり、創成川の西側、南二條と三條との間の小路をいふ、この處ろ飲食店とて、西二丁目三丁目にて兩側に軒を比べ、四十余の角行燈影暗き邊、一種異体の怪物、無尻を着る下婢体のもの、唐棧の娘、黒チリ一ツ紋の令嬢のもの、無慮百三四十匹、各衣裳なりに身体を拵ひ、夜な夜な眞面目に白い手をスツクと伸して、北海道へ金庫でも建て様と思ひ込み且つ呑み込み、故郷を威張つて遙々来た、大の男子等を巧に生擒り、財布の底を叩かせる、ハテ怪有な動物かな、その魅力狸よりも上手なれは人々斯くは狸小路となん呼べるなり」とあります。

これらで語られる「白首」とは、「こけ」と読み、昭和30年（1955）の『北海

道方言集』によれば、私娼などを「こけ」と呼ぶのは、新潟秋田・青森地方と同じ方言で、給仕をかねて飲食店などで雇い入れていたようです。

こうした狸と呼ばれた女たちがいたから「狸小路」だというのが、ほぼ定説となつているようです。

北海道各地の狸小路

また、北海道には札幌だけでなく、各地に狸小路がありました。帯広市の狸小路は、帯広駅付近の大通と西一条の伸通りの繁華街のことで、料理店が集中して花街が形成されていました。『帯広市史』などによれば、札幌の狸小路にあやかつたのではないかということです。

ほかにも、小樽の錦町は第二次世界大戦前には遊郭があり、狸小路と呼ばれていました。また小林多喜二の小説によると、手宮にも狸小路があり、長い航海を終えた船員が「手宮の狸小路、稲穂町電器館通へ、この嬉しそうな船員は棧橋や税関のあたりから街へ、街へと駆足でゆく。女と酒のことはまあいいとして、手宮館、富士館、電器館へ船員は『活動写真』をも見にゆく」とあり、電器館通の途中にあつた狸小路は、やはり「女と酒」の街だったようです。

横浜の狸小路

ここで、横浜の狸小路について見てみましょう。横浜駅西口は、国内外を問わず多くの人々が行きかう集客地であり、観光地となつていますが、昭和20年代までは資材置き場が広がる無人駅でした。

そうした横浜駅は区画整理によつて変わり、昭和31年（1956）に狸小路はできました。命名したのは今でも狸小路に店を構える豚肉料理屋の先代で、札幌になつたらしく、花街とは関係ないようです。

ただ、20年近く前に、昭和の当時のことを知る屋台の店主に聞いた話では、横浜駅西口は怖くてとても近寄れなかつたそうです。元プロボクサーでこわもての彼が、一体何を怖がつていたのか…今でも横浜駅西口に立ち寄るたびに思い起こします。

おわりに

さて、狸小路はこのほか、青森や大阪などにもありましたが、おおよそのイメージをつかんでいただけなのではないかと思えます。最後に東京の新橋駅東口にあつた狸小路について、前述した由来を史実に基づいて書き換えたものをご紹介して本稿を終えたいと思います。なお、こちらの狸小路については、私が調べた限り私娼を置いた事実はなかったことを申し添えておきます。

「江戸時代の新橋は、大名藩邸が立ち並んだ場所であり、現在の新橋駅東口あたりは豊後岡藩中川家の中屋敷だったが、明治5年（1872）に日蔭町二丁目となった。

明治42年（1909）には、のちに新橋駅と名を改める烏森駅が、日蔭町二丁目のすぐ西側に開業し、現在の新橋駅付近の様相がかとられた。

時は流れ、すべてが灰となった第二次世界大戦後、それは昭和22年

するような所だけでも道が沢山あり人はよりつかなかつた。明治時代になり鉄道建設の為此の近辺の開拓に当たったところ、狸の巣があり子狸が三匹も見つかり、作業員が餌を与え、三つの小屋を作つてあげたと云う。その場所が丁度このビルの所でした。子狸がどこかへ行った後残された狸小屋に人が集まつて酒を飲んだりしたのでその辺りに飲食街が出来、これを「狸小路」と称する様になった」

この新橋の狸小路の由来については、本稿の最後にもう一度触れますが、その前に各地の狸小路について、その始まりを見てみたいと思います。

札幌の狸小路

さて、まずは最も有名な札幌の狸小路から見てもみましょう。現在の札幌狸小路は、南2条と南3条の中通で西1丁目から西10丁目まである横長の街区となつており、その歴史は札幌開府までさかのぼります。

（1947）頃のことだが、この地にY商会によつてマーケットが開かれた。その範囲は、Y商会が賃貸経営を行つていた建物と、その間に位置する「中通り」と呼ばれた平屋の建物3棟であり、史料上では新生商店街と記載されているが、なぜかY商会は狸小路と呼んでいた。

狸小路は人々の憩いの場として愛されたが、昭和39年（1964）の東京オリンピック後に市街地改造事業が行われ、同41年（1966）に狸小路跡地に新橋駅前ビルが竣工した。ただし、Y商会は新橋駅前ビルの区分所有者として賃貸経営をしており、狸小路の店舗のいくつかはビル内に移つて今も営業している。新橋駅前ビル内に小さな飲食店が密集する空間があることは、ありし日の狸小路の名残なのかもしれない。

昭和の面影を色濃く残す新橋駅前ビルではあるが、平成29年（2017）に『新橋駅東口地区再開発協議会』の設立に至り、いずれ姿を改めることになるだろう」

（文：江口知秀）



新橋駅前ビル1号館の入口に立つ開運狸



岩手支店から

「輝き」と「活力」をかなえるまち「盛岡市」

令和5年（2023）1月、アメリカのニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選ばれ、イギリスの首都ロンドンに次いで2番目に紹介されました。盛岡市の選出は、アメリカ出身のクレイグ・モドさん（作家・写真家）が同紙に推薦文を寄せたことが大きく影響しており、その推薦文には盛岡市の魅力がこう書かれています。

「東京から新幹線ですぐ行ける、人混みなく歩いて回れる宝石的スポット。東京、京都、大阪といった人気観光地と比べ、岩手県盛岡市は、たいていは通過され、見過ごされてきた。しかし市街地は、まち歩きにとっても適しており、大正時代に建てられた西洋と東洋の建築美が融合した建造物、近代的なホテル、歴史を感じさせる旅館（伝統的な宿泊施設）、蛇行して流れる川などの素材にあふれる。城跡が公園となっているのも

魅力の一つだ」

今回は、このクレイグ・モドさんのコメントにあった「建築美が融合した建造物」の一つである「岩手銀行赤レンガ館」「城跡が公園」となっている「盛岡城跡公園」の二つの施設を紹介します。

岩手銀行赤レンガ館は、明治44年（1911）に盛岡銀行本店として完成。辰野金吾・葛西萬司建築事務所的设计で、辰野が手掛けた作品として東北地方で唯一残っている建物です。平成24年（2012）まで銀行として使用された後、平成28年（2016）に公開施設としてオープンしました。威風堂々としたドームの屋根、赤レンガと白い花崗岩のコントラストが美しい外壁、建物の中は吹き抜けで開放感があり、各フロアには豪華な装飾が施されている点など、各所に当時の銀行建築の特徴を見ることが出来ます。

館内は二つのゾーンで構成されて

おり、「岩手銀行ゾーン」（無料）には、盛岡の産業・商業の歴史を紹介するライブラリースホールが設けられています。もう一つの「盛岡銀行ゾーン」（有料）では、開業当時から使われていた金庫室や支配人室などが公開されています。

盛岡城跡公園は、盛岡藩・南部氏の居城であった盛岡城の跡地に、日本人初の公園デザイナーといわれる長岡安平の設計で明治39年（1906）に岩手公園として

定しながら積み直しを行う作業です。築石は、一つひとつの形・大きさがバラバラな上、文化財のため破損はおろか削るなどの加工もできません。そのため、本来の勾配通りに積み上げるのは非常に難しいと言われていますが、熟練の石工の技術により、その作業を無事に成し遂げ、令和6年（2024）11月に完成しました。長年の経験が作り出す職人の技が、重要な歴史遺産の未来をつなぐとともに、盛岡市というまちの未来をも築いているように感じます。

クレイグ・モドさんの推薦文ではこれらの他にも、街並みの美しさとともに、老舗そば処、コーヒー専門店、独立系書店など、個性ある個人経営

の店を紹介しています。皆さんも盛岡市の選出を機会に、自然が溶け込み、個性や趣に溢れているまちを訪

れてみませんか。きっと盛岡の魅力を堪能できると思います。



盛岡城はその石垣の美しさで「日本100名城」にも選ばれている
(写真提供:公益財団法人 岩手県観光協会)



石垣修復工事の様子。築石の裏側に円礫(栗石)を敷き詰めて固定しながら積み直していく(写真提供:盛岡市役所 公園みどり課)

岩手支店

〒020-0873

岩手県盛岡市松尾町17番9号 岩手県建設会館2F

TEL. (019) 624-4480 FAX. (0120) 027-216

編集後記

ここ数年、猛暑続きの厳しい夏を過ごしていることもあり、今号は環境配慮に関連した記事が多くなりました。

さて、巻頭インタビューでは、地球にも人間にも優しい「パッシブハウス」をご紹介します。「パッシブハウスの心地よさを体感しに来てください!」とお招きいただき、2025年4月、森氏の自宅に取材に行ってまいりました。当日の軽井沢の天気予報は雪マーク。実際には小雨模様でしたが、外気温は7℃。パッシブハウスの取材にはもってこいの天候でした。まず、暖房をつけていなくても室温が20℃あることに驚きましたが、竣工から2年、バスルームの掃除を1回もしていないと聞き、さらにビックリ。一年中、結露やカビと無縁なので掃除する必要がないのだそうです。カビ取り剤を使わずに済みますから、海と川の環境にも優しいですね。省エネと健康促進以外にもたくさんのメリットがありそうで、「私もいつかパッシブハウスに…」という淡い夢を抱きながら家路につきました。

電気代の節約や冷房が苦手なためにエアコンを使わないとか、そもそも部屋にエアコンがなくて熱中症で命を落としたというニュースを、この夏も耳にするのでしょうか。光熱費の心配がなく、エアコンに頼らずとも快適で健康に過ごせる家がだれにでもある。そんな未来であってほしいと願います。

特集一覧

2014年	2015年	2016年	2017年
冬: よみがえる	冬: へらす	冬: くみあわす	冬: しる
春: のばす	春: もてなす	春: ささえる	春: やすむ
夏: はかる	夏: さかせる	夏: つなぐ	夏: いかす
秋: たくわえる	秋: こわす	秋: たのしむ	秋: あゆむ
2018年	2019年	2020年	2021年
冬: つかう	冬: あたたまる	冬: とりくむ	冬: ひきつける
春: かえる	春: かんがえる	春: つなぐ2	春: つたえる2
夏: ふせぐ	夏: めざす	夏: たかめる	夏: ふかめる
秋: つたえる	秋: みせる	秋: みちびく	秋: ととのえる
2022年	2023年	2024年	2025年
冬: かさねる	冬: はたす	冬: かたる	冬: かがやく
春: むきあう	春: つくる	春: あらためる	春: むかえる
夏: みなおす	夏: きずく	夏: つどう	
秋: えがく	秋: めぐる	秋: みちびく2	

EAST TIMES

禁転載

東日本建設業保証株式会社
<https://www.ejcs.co.jp>

事業内容: 公共工事の前払金保証、中間前払金保証、
契約保証、契約保証予約

公表資料: 公共工事の動向、建設業景況調査、
建設業の財務統計指標

公開施設: 建設産業図書館

※本誌の掲載文のうち、意見を述べた部分については、執筆者の個人的
見解であることをお断りします。
※誌面に関するご意見・ご要望、送付先変更等につきましては
弊社ホームページ「お問い合わせ」フォームより送信願います。



建設産業と、ともに歩みつづける



東日本建設業保証株式会社

建設業界への入職促進・イメージアップ動画公開中！！

update

YouTube 東日本建設業保証公式チャンネル

